

都市再生整備計画 事後評価シート

天岩戸地区

令和3年9月

宮崎県高千穂町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮崎県	市町村名	高千穂町	地区名	天岩戸地区			面積	153ha
交付期間	平成28年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	395百万円	国費率	0.4		

		事業名			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(天岩戸神社東本宮南駐車場)、高質空間形成施設(門前通り改修、岩戸川沿遊歩道、天安河原アクセス遊歩道)、高次都市施設(観光交流施設(天岩戸神社前)→(門前通り))		
		提案事業	地域創造支援事業(チャレンジショップ開店支援)、事業活用調査(事後評価調査)、まちづくり活動推進事業(まちづくりワークショップ開催)		
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
		基幹事業	道路(歩道橋整備(岩戸川))	道路管理者である宮崎県と協議を行いながら設計を進めてきたが、本体工事の主たる部分については、県の負担で整備することとなったため、基幹事業の道路から削除し、提案事業の地域創造支援事業に変更したい。下部工についてはR2、上部工についてはR3年度施工予定。継続して第2期計画で実施予定。	影響あり(“①事業内容変更に伴う事業費増減の割合”と“②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合”の2つの要素を用いて目標指標を再設定)
			道路(旧岩戸駅アクセス道路)	高千穂町の新たな観光資源となる旧高千穂鉄道の公園化計画との関連で関係機関と協議を進めてきたが、観光拠点を結ぶ交通ネットワークと車中心から人中心への移り変わりを再構築し、基本構想を集約した後に実施することとなり、計画期間内の完了が困難になったため削除。継続して第2期計画で取り組んでいきたい。	影響あり(“①事業内容変更に伴う事業費増減の割合”と“②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合”の2つの要素を用いて目標指標を再設定)
			地域生活基盤施設(天岩戸神社東本宮駐車場)	関連事業である広域連携事業天岩戸橋歩道橋整備と連携して計画を進めてきたが、全体事業計画が変更となり、計画期間内の完了が困難になったため削除。継続して第2期計画で取り組んでいきたい。	影響あり(“①事業内容変更に伴う事業費増減の割合”と“②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合”の2つの要素を用いて目標指標を再設定)
			地域生活基盤施設(旧天岩戸駅駐車場)	高千穂町の新たな観光資源となる旧高千穂鉄道の公園化計画との関連で関係機関と協議を進めてきたが、観光拠点を結ぶ交通ネットワークと車中心から人中心への移り変わりを再構築し、基本構想を集約した後に実施することとなり、計画期間内の完了が困難になったため削除。	影響あり(“①事業内容変更に伴う事業費増減の割合”と“②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合”の2つの要素を用いて目標指標を再設定)
			地域生活基盤施設(案内板設置)	高千穂町の新たな観光資源となる旧高千穂鉄道の公園化計画との関連で関係機関と協議を進めてきたが、観光拠点を結ぶ交通ネットワークと車中心から人中心への移り変わりを再構築し、基本構想を集約した後に実施することとなり、計画期間内の完了が困難になったため削除したい。継続して第2期計画で取り組んでいきたい。	影響あり(“①事業内容変更に伴う事業費増減の割合”と“②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合”の2つの要素を用いて目標指標を再設定)
			高質空間形成施設(天岩戸神社東本宮トイレ整備)	関連事業である広域連携事業天岩戸橋歩道橋整備と連携して計画を進めてきたが、全体事業計画が変更となり、計画期間内の完了が困難になったため削除。継続して第2期計画で取り組んでいきたい。	影響あり(“①事業内容変更に伴う事業費増減の割合”と“②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合”の2つの要素を用いて目標指標を再設定)
		提案事業	地域創造支援事業(旧天岩戸駅リニューアル)	高千穂町の新たな観光資源となる旧高千穂鉄道の公園化計画との関連で関係機関と協議を進めてきたが、観光拠点を結ぶ交通ネットワークと車中心から人中心への移り変わりを再構築し、基本構想を集約した後に実施することとなり、計画期間内の完了が困難になったため削除。	影響なし
事業活用調査(岩戸地区地区景観計画策定)	都市再生整備計画のエリアだけではなく、町全体の景観計画策定に取り組み、平成30年4月より景観条例が施行となったので削除。		影響なし		

	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(ポケットパーク(広場))	空き家・空き地の利用想定について、門前通りの岩戸川溪谷や町並みを楽しめる第5回ワークショップ及び、岩戸川等を眺める展望機能～安らぎ空間としての第6回ワークショップについて、ポケットパーク整備の合意形成が図られたので、地域生活基盤施設に追加。	影響なし
		提案事業	地域創造支援事業(既存店舗改修支援)	神々の郷をイメージした街並み整備や商業の活性化、賑わいの回復を図るための取り組みについてまちづくり協議会で検討を重ね、空家や空き店舗を利活用したチャレンジショップ支援だけでなく、既存店舗の改修支援も取り組む必要があると意見が集約されたので追加。	影響なし
			地域創造支援事業(歩道橋整備)	歩道橋は、設計を高千穂町で行い、整備については県で施工を行う。ただし、景観等に係る部分は町の負担にて整備を行う。景観等に係る部分は、住民意向等を踏まえ、地域の特性を活かし、創意工夫のある歩道橋整備計画であるため当該事業に追加。	影響なし
			事業活用調査(整備計画検討)	協議会で検討や協議をするなかで、関連事業の全体計画の変更に伴う事業の継続やコロナにより落ち込んだ当地区を好転させるために、新たなまちづくりを調査検討し、整備計画を見直す必要があると多くの意見があり、関係機関や住民との合意形成が図られたので事業を追加。	影響なし
	交付期間の変更	当初	平成28年度～平成32年度(令和2年度)	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	—
変更	—				

	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標1	高千穂町入込観光客数	千人/年	1,429	H26	1,513	R2	—	759	×	あり	・天安河原アクセス遊歩道等の整備によるアクセス性の向上や、観光交流施設(門前通り)やポケットパークの整備による拠点の形成、駐車場整備による利便性向上が進んだことで、入込観光客数は徐々に増えつつあったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。また、個別の施設や基盤整備は進んだものの、まち全体の活性化に資する面的な環境整備には至らなかったことも要因と推察される。	—
										なし	●		
	指標2	宿泊観光客数	千人/年	147	H26	162	R2	—	115	×	あり	・駐車場整備による訪問者の利便性向上や、天安河原アクセス遊歩道等の整備による回遊性向上、観光資源の魅力の向上が進んだことで、宿泊客数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。	—
	指標3	観光客消費額	億円/年	35	H26	38	R2	—	34	×	あり	・チャレンジショップ開店支援・既存店舗改修支援による商業機能の向上や、門前通り改修・観光交流施設(門前通り)の整備による門前通り全体の商業拠点としての雰囲気づくりが進んだことで、観光客消費額は増加傾向であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。	—
											なし	●	
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	—	—	—	—				—			—	—
その他の数値指標2	—	—	—	—				—			—	—	
4) 定性的な効果 発現状況	<p>・まちづくりワークショップにより、一部整備方針には地域住民意見が反映されるなど、地域住民のまちづくりに対する意識醸成に繋がった。</p> <p>また、参加した行政職員と町民との信頼とネットワークが培われた。</p> <p>・事業実施後に開催された天岩戸地区まちづくり協議会では、門前通りを中心として歴史あるまちの雰囲気形成されつつあることや、交流施設が地域住民の憩いの場になりつつあることなど、整備効果を評価する好意的な意見が挙げられた。さらに協議会では、今後のまちづくりのあり方についても議論がなされ、地域住民のまちづくりに対する意識向上につながった。</p>												

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった
住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりワークショップの開催(計9回、H28年11月～R2年7月)天岩戸地区のまちづくりについてWSを開催し、住民と行政の協働によるまちづくりを推進 天岩戸地区まちづくり協議会(計14回、H28年11月～R2年11月)まちづくり協議会では年一回の夜市の開催や天岩戸名所案内mapの作成・配布を実施した。 	都市再生整備計画に記載し、実施できた	○	<ul style="list-style-type: none"> 「まちづくりワークショップ」の活動については、引き続き運営主体と協働による取組みを進める。 「天岩戸地区まちづくり協議会」の活動については、今後も、まちづくりを進めて行くための組織として、運営の支援等を継続的に行っていく。 	
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 天岩戸地区まちづくり協議会の活動 	都市再生整備計画に記載し、実施できた		<ul style="list-style-type: none"> 天岩戸地区まちづくり協議会による、町民・事業者主体のまちづくり活動を支援していく。 	
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	○		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

様式2-2 地区の概要

天岩戸地区(宮崎県高千穂町) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標：神都高千穂の活性化をサポートする岩戸の核・顔づくり 目標1：岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり 目標2：岩戸に訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適に暮らせるまちづくり 目標3：岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気のあるまちづくり	高千穂町入込観光客数	単位：千人／年 1,429 H26	1,513 R2	759 R2
	宿泊観光客数	単位：千人／年 147 H26	162 R2	115 R2
	観光客消費額	単位：億円／年 35 H26	38 R2	34 R2

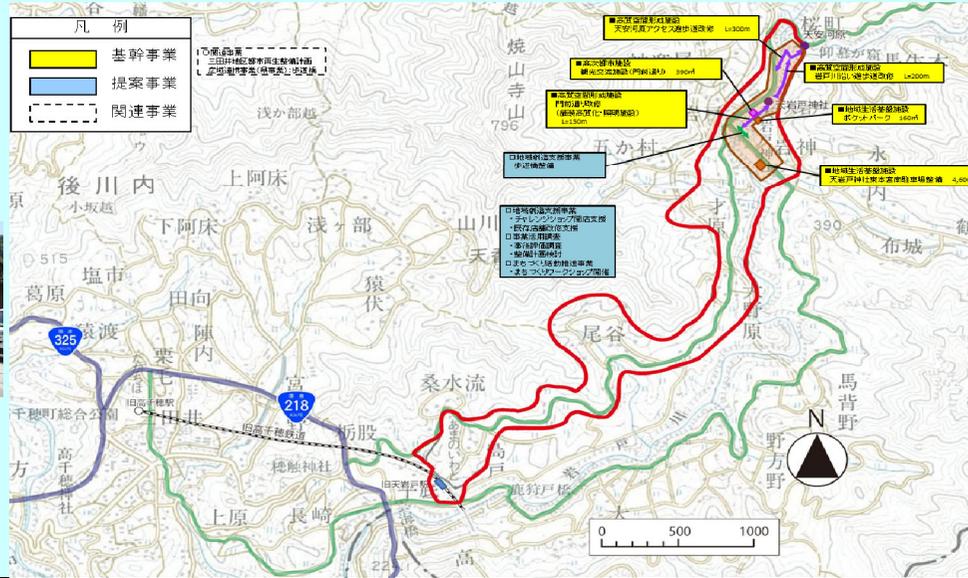
ポケットパーク



観光交流施設



天安河原アクセス遊歩道



東本宮南駐車場



門前通り



まちの課題の変化

- 当初の課題①神都高千穂を象徴する歴史・文化資源である天岩戸神社の活用や滞在時間の延長によるまちの活性化に向け、神々の郷としての雰囲気づくり、訪れる人の利便性を高めるサービスの提供・滞在時間の延長を図る必要がある
⇒課題の変化：天安河原アクセス遊歩道や天岩戸神社東本宮南駐車場の整備に伴い、訪問者の利便性・回遊性が高められた。また、観光交流施設(門前通り)やポケットパークの整備により、情報提供や休憩の拠点が形成され、観光客の滞在時間の延長が図られた。しかし、入込観光客数が横這いで推移していることから、まち全体の活性化には至らなかったことが推察されるため、さらなる観光客の取込みに資する魅力の創出や仕掛けづくりが必要である。滞在時間の延長やまち全体の活性化をさらに進めるため、天岩戸地区全体の回遊を推進する取組も必要である。
- 当初の課題②天岩戸神社を訪れる多くの観光客を門前通りに誘導し、まちの賑わいを演出するためや、渓谷沿いの神秘的な自然景観を楽しむための基盤整備や仕掛けづくりが必要である。
⇒課題の変化：門前通りの改修や観光交流施設(門前通り)の整備が進んだことにより、観光客のまちなかへの誘導や地域住民の交流促進が図られた。天安河原アクセス遊歩道や岩戸川沿い遊歩道の整備により、自然景観を楽しむための基盤整備や仕掛けづくりが行われた。門前通り周辺に一体的な賑わいを演出するため、複数の観光資源間や駐車場と観光資源との間における観光動線上の魅力の向上や、天岩戸地区みんなでまちをつくる機運の醸成が必要である。
- 当初の課題③門前通りの岩戸地区の商業拠点としての賑わいの回復を図るための取組が必要である。
⇒課題の変化：チャレンジショップ開店支援や既存店舗改修支援により商業拠点としての賑わい創出が図られた。また、門前通り改修や観光交流施設(門前通り)の整備により、門前通り全体の商業拠点としての雰囲気づくりが進んだ。商業拠点としての拠点性の強化により更なる賑わい創出を図るため、天岩戸地区の歴史・文化・観光等の情報発信機能や集客力の向上が必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・観光客のまちなかへの誘導やまちなかにぎわい創出の効果を持続し高めるため、門前通りの改修や交流拠点施設の拠点性の強化を継続しつつ、訪問者の少ない観光資源を活用するため、新たな魅力を発掘し、周辺環境整備や情報発信を進めるとともに、住民参加型による活性化方策の具体化を進めることで、観光動線上の魅力の向上や、みんなでまちをつくる機運の醸成を図る。
- ・観光客の滞在時間延長の効果を持続し高めるため、地区全体に潜在する観光スポット、ビュースポットを観光客にもアクセスしやすいよう整備することで回遊を促すとともに、回遊行動そのもののしやすさを向上するための仕掛けづくりに関する取り組みを進めることにより、天岩戸地区全体の回遊の推進を図る。
- ・効果が顕在化していない観光客の取込みについては、天岩戸地区を訪れる観光客の利便性や満足度の向上を図るための基盤整備を引き続き進めた上で、観光資源を効果的に伝えるための方法の検討や人材育成等による集客力の向上を目指す。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

- 添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		■指標1:高千穂町入込観光客数 目標値 1,580千人/年(R2) ■指標2:宿泊観光客数 目標値 174千人/年(R2) ■指標3:観光客消費額 目標値 40億円/年(R2)	■指標1:高千穂町入込観光客数 目標値 1,513千人/年(R2) ■指標2:宿泊観光客数 目標値 162千人/年(R2) ■指標3:観光客消費額 目標値 38億円/年(R2)	高千穂固有の歴史や文化の活用や回遊性、利便性の向上など快適で魅力あるまちづくりに取り組んできたが、本町の財政状況、関連する事業の進捗に併せた全体計画の事業量及び事業費の変更に伴い、目標値を変更した。
D. その他()					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影 響	事後評価時の完成状況	
		事業費 (百万円)	事業内容	事業費 (百万円)	事業内容			完成	完成見込み
道路	歩道橋整備(岩戸川)	239	L=70m	—	—	第2回:事業期間の変更 第4回:事業の削除	第2回:影響なし 第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定)	—	—
道路	旧岩戸駅アクセス道路	180	L=70m	—	—	第2回:事業期間の変更 第4回:事業の削除	第2回:影響なし 第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定)	—	—
地域生活基盤施設	天岩戸神社東本宮駐車場	10	A=4,500㎡	9	A=4,600㎡	第2回:事業期間の変更 第4回:事業の削除	第2回:影響なし 第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定)	—	—
地域生活基盤施設	天岩戸神社東本宮南駐車場	5	A=1,800㎡	—	—	第2回:事業量、事業費の変更	第2回:影響なし	●	—
地域生活基盤施設	旧岩戸駅駐車場	10	A=4,500㎡	—	—	第4回:事業の削除	第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定)	—	—
地域生活基盤施設	案内板	10	16箇所	—	—	第2回:事業期間の変更 第4回:事業の削除	第2回:影響なし 第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定)	—	—
地域生活基盤施設	ポケットパーク(広場)	—	—	38	A=160㎡	第1回:事業追加 第4回:事業費の変更 第5回:事業費の変更	第1回:影響なし 第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定) 第5回:影響なし	●	—
高質空間形成施設	門前通り改修	120	L=150m	132	L=150m	第2回:事業量、事業費の変更 第4回:事業費の変更	第2回:影響なし 第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定)	●	—
高質空間形成施設	天岩戸神社東本宮トイレ整備	20	1箇所	—	—	第2回:事業期間の変更 第4回:事業の削除	第2回:影響なし 第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定)	—	—
高質空間形成施設	岩戸川沿い遊歩道	30	L=200m	3	L=200m	第4回:事業費の変更	第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定)	●	—
高質空間形成施設	天安河原アクセス遊歩道	40	L=300m	53	L=300m	第2回:事業期間の変更 第5回:事業費の変更	第2回:影響なし 第5回:影響なし	●	—
高次都市施設	観光交流施設(天岩戸神社前)	110	A=200㎡	—	—	第1回:事業箇所の変更(門前通りへ)	第1回:影響なし	—	—
高次都市施設	観光交流施設(門前通り)	—	—	126	A=390㎡	第1回:事業追加(天岩戸神社前から箇所変更) 第3回:事業量(面積)の変更 第4回:事業費の変更 第5回:事業費の変更	第3回:影響なし 第4回:影響あり("①事業内容変更に伴う事業費増減の割合"と"②事業と指標の関連性(直接的改善、間接的改善等)による影響の割合"の2つの要素を用いて目標指標を再設定) 第5回:影響なし	●	—

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影 響	事後評価時の完成状況	
		事業費 (百万円)	事業内容	事業費 (百万円)	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	チャレンジショップ開店支援	5.0	チャレンジショップ募 集、開店にあたって の事前相談等	1.0	チャレンジショップ募 集、開店にあたって の事前相談等	第4回:事業費の変更	第4回:影響なし	●	—
	旧天岩戸駅リニューアル	10.0	観光施設入場口、 休憩スペース	—	—	第4回:事業の削除	第4回:影響なし	—	—
	既存店舗改修支援	—	—	1.0	既存店舗改修支援	第2回:事業の追加 第4回:事業費の変更	第2回:影響なし 第4回:影響なし	●	—
	歩道橋整備(岩戸川)	—	—	15.0	地域の特性を活か し、創意工夫のある 歩道橋整備の検討・ 設計に係る委託	第3回:事業の追加	第3回:影響なし	●	—
事業活用調査	事後評価調査	5.0	都市再生整備計画 事後評価の策定に 際して必要となる資 料収集、調査、検討 に係る委託	3.0	都市再生整備計画 事後評価の策定に 際して必要となる資 料収集、調査、検討 に係る委託	第4回:事業費の変更	第4回:影響なし	●	—
	岩戸地区景観計画策定	10.0	景観計画策定にさ いして必要となる、 現状分析調査、資 料収集、景観形成 方針の検討に係る 委託	—	景観計画策定にさ いして必要となる、現 状分析調査、資料収 集、景観形成方針の 検討に係る委託	第2回:事業の削除	第2回:影響なし	—	—
	整備計画検討	—	—	4.0	都市再生整備計画 検討の策定に際して 必要となる資料収 集、調査、検討に係 る委託	第4回:事業の追加	第4回:影響なし	●	—
まちづくり 活動推進事 業	まちづくりワーク ショップ開催	10.0	まちづくりワーク ショップ開設支援の 委託	10.0	まちづくりワーク ショップ開設支援の 委託	—	—	●	—

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			事業費 (百万円)	最終変更 計画(百万円)	当初計画	最終変更計画		
三田井地区都市再生整備計画事業		三田井地区	835	389	平成28年～平成32年	平成26年～令和4年	協議会での検討や関連事業との調整に伴い、方針の見直しはあったが、まちの魅力を創出するための空間づくりや神秘的な景観を楽しむための基盤整備は計画通りに進んだ。	2期計画を策定予定であり、引き続き三田井地区と合わせて一体的なまちづくりを進める
広域連携事業		(一)下野鹿狩戸線・岩戸3工区	—	382		平成28年～令和4年	県と町および地域住民と連携して令和4年度の完成を見直し、順調に進捗している。地域住民の期待度も高く、魅力まちづくりへの効果は大きいと予想される。	—

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし				
指標1	高千穂町入込観光客数	千人/年	高千穂町内駐車場の入込台数(実績)に基づき年間入込観光客数を算出した。乗用車、貸切バス、路線バスのそれぞれから計測した入込観光客数を合計した。	-	-	1,429	H26	1,513	R2	モニタリング	-	-	モニタリング	-		●
										事後評価	見込み	759	事後評価	×		
指標2	宿泊観光客数	千人/年	高千穂町内の各旅館・ホテル・民宿などの宿泊客数月次データを集計し、年計を算出した。	-	-	147	H26	162	R2	モニタリング	-	-	モニタリング	-		●
										事後評価	見込み	115	事後評価	×		
指標3	観光客消費額	億円/年	高千穂町を訪れた観光客の宿泊費、土産品費、飲食費を合計して年間総消費額を算出した。	-	-	35	H26	38	R2	モニタリング	-	-	モニタリング	-		●
										事後評価	見込み	34	事後評価	×		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により人の移動が制限され、観光客数が減少したことにより目標は達成できなかったものの、天岩戸神社および天安河原周辺の環境整備により、既存の観光資源、歴史・文化(天岩戸神社、天安河原、神楽など)の魅力を活用した、神々の郷としての雰囲気づくりが図られた。	新型コロナウイルス感染症の流行による人の移動の制限や自粛が数値に影響を与えている可能性が推察される。
指標2	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により人の移動が制限され、観光客数が減少したことにより目標は達成できなかったものの、駐車場の整備により回遊性が向上したほか、遊歩道や観光交流施設の整備によりまちなかへの観光客の誘導及び滞在時間の延長が図られたことにより、宿泊客数の推移は昨年度まで増加傾向にあり、昨年度時点では達成していたことから、事業による効果は認められる。	同上
指標3	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により人の移動が制限され、観光客数が減少したことにより目標は達成できなかったものの、チャレンジショップ開店支援や既存店舗改修など、中心市街地の商業の活性化が図られたことにより、観光客消費額の推移は昨年度まで増加傾向にあり、昨年度時点では達成していたことから、事業による効果は認められる。	同上

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度		モニタリング	確定見込み	事後評価		
その他の数値指標1	—	—	—	—	—	—	モニタリング	—	—	—	—
							事後評価	確定見込み			
その他の数値指標2	—	—	—	—	—	—	モニタリング	—	—	—	—
							事後評価	確定見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・まちづくりワークショップにより、一部整備方針には地域住民意見が反映されるなど、地域住民のまちづくりに対する意識醸成に繋がった。
 また、参加した行政職員と町民との信頼とネットワークが培われた。
 ・事業実施後に開催された天岩戸地区まちづくり協議会では、門前通りを中心として歴史あるまちの雰囲気が形成されつつあることや、交流施設が地域住民の憩いの場になりつつあることなど、整備効果を評価する好意的な意見が挙げられた。さらに協議会では、今後のまちづくりのあり方についても議論がなされ、地域住民のまちづくりに対する意識向上につながった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
・まちづくり協議会の活動	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した ● 予定したが実施できなかった (理由)	天岩戸地区まちづくり協議会 【実施頻度】計14回 【実施時期】H28年11月～R2年11月 【実施結果】まちづくり協議会では年一回の夜市でのイベント開催や回遊性を高める為の天岩戸名所案内mapの作成・配布を実施した。	・今後も、まちづくりを進めて行くための組織として、運営の支援等を継続的に行っていく。
・まちづくりワークショップの実施	予定どおり実施した ● 予定はなかったが実施した ● 予定したが実施できなかった (理由)	天岩戸地区まちづくりワークショップ 【実施頻度】計9回 【実施時期】H28年11月～R2年7月 【実施結果】天岩戸地区のまちづくりについて、地域住民の意見を求めるためのWSを開催し、住民と行政の協働によるまちづくりを進めてきた。これにより、観光交流施設、歩道橋、門前通りの整備方針(歩道舗装、照明等)を決定した。	・第2期に向けて、引き続き協働による取り組みを進める。

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
まちづくり協議会	予定どおり実施した	—	天岩戸地区まちづくり協議会 :地域住民と各種地区団体で構成し、 連携・協働して、他にはない高千穂の 魅力あふれるまちづくりに取組む組織	まちづくり協議会による、町民・事業者主体 のまちづくり活動を支援していく。
	予定はなかったが実施した ●			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業評価委員会	副町長、岩戸地区公民館連絡協議会会長、三田井地区公民館連絡協議会会長、高千穂町商工会会長、高千穂町観光協会DMO推進課長、高千穂町議会議員、高千穂町企画観光課課長、高千穂町総合政策課課長	令和3年8月5日(木)	建設課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		—	
指標名		—	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	[地域生活基盤施設]天岩戸神社東本宮南駐車場		—
	[地域生活基盤施設]ポケットパーク(広場)		
	[高質空間形成施設]門前通り改修		
	[高質空間形成施設]岩戸川沿い遊歩道		
	[高質空間形成施設]天安河原アクセス遊歩道		
	[高次都市施設観光交流センター]観光交流施設(門前通り)		
提案事業	[地域創造支援事業]チャレンジショップ開店支援		
	[地域創造支援事業]既存店舗改修支援		
	[地域創造支援事業]歩道橋整備(岩戸川)		
	[事業活用調査] 事後評価調査		
	[まちづくり活動推進事業]まちづくりワークショップ開催		
関連事業	[関連事業] 三田井地区都市再生整備計画事業		
	[関連事業] 広域連携事業		

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	—
-------	---

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2			指標3		
指標名		高千穂町入込観光客数			宿泊客数			観光客消費額		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	[地域生活基盤施設]天岩戸神社東本宮南駐車場	△	・天安河原アクセス遊歩道等の整備によるアクセス性の向上や、観光交流施設(門前通り)やポケットパークの整備による拠点の形成、駐車場整備による利便性向上が進んだことで、入込観光客数は徐々に増えつつあったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。また、個別の施設や基盤整備は進んだものの、まち全体の活性化に資する面的な環境整備には至らなかったことも要因と推察される。	Ⅲ・Ⅳ	△	・駐車場整備による訪問者の利便性向上や、天安河原アクセス遊歩道等の整備による回遊性向上、観光資源の魅力の向上が進んだことで、宿泊客数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。	Ⅲ	△	・チャレンジショップ開店支援・既存店舗改修支援による商業機能の向上や、門前通り改修・観光交流施設(門前通り)の整備による門前通り全体の商業拠点としての雰囲気づくりが進んだことで、観光客消費額は増加傾向であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人の移動制限や自粛が要因となり、目標値には及ばなかった。	Ⅲ
	[地域生活基盤施設]ポケットパーク(広場)	△			△			△		
	[高質空間形成施設]門前通り改修	△			△			△		
	[高質空間形成施設]岩戸川沿い遊歩道	△			△			△		
	[高質空間形成施設]天安河原アクセス遊歩道	△			△			△		
	[高次都市施設観光交流センター]観光交流施設(門前通り)	△			△			△		
提案事業	[地域創造支援事業]チャレンジショップ開店支援	△			—		Ⅲ	△		Ⅲ
	[地域創造支援事業]既存店舗改修支援	△			—			△		
	[地域創造支援事業]歩道橋整備(岩戸川)	△			—			△		
	[事業活用調査] 事後評価調査	—			—			—		
	[まちづくり活動推進事業]まちづくりワークショップ開催	—			—			—		
関連事業	[関連事業] 三田井地区都市再生整備計画事業	△			△			△		
	[関連事業] 広域連携事業	△			△			△		

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	<ul style="list-style-type: none"> ・まち全体の活性化を目指すため、誰もが安心して訪れやすい、また訪れたい観光地の形成に資する基盤整備を進めつつ、天岩戸地区全体の回遊を推進する取組を実施する。 ・観光資源に関する情報発信や中心部の雰囲気づくりなどのソフト面も強化することで、入込観光客数の増加を目指す。 ・住民参加型でまちづくり方策の具体化を進めることで、天岩戸地区みんなでまちをつくる機運の醸成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市基盤の整備などのハード面の整備と合わせて、新たな見どころの発掘や回遊を促すサインの設置などを進めることにより、滞在時間の延長を図ることで、宿泊客数の増加を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きチャレンジショップ開店支援や既存店舗改修支援等、商業への補助活動支援を行う。 ・観光交流施設を活かした情報発信機能、観光資源を効果的に伝えるための人材育成、休憩機能の強化等を図ることで、拠点としての集客力の向上を目指す。
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業評価委員会	副町長、岩戸地区公民館連絡協議会会長、三田井地区公民館連絡協議会会長、高千穂町商工会会長、高千穂町観光協会DMO推進課長、高千穂町議会議員、高千穂町企画観光課課長、高千穂町総合政策課課長	令和3年8月5日(木)	建設課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
①神都高千穂を象徴する歴史・文化資源である天岩戸神社の活用や滞在時間の延長によるまちの活性化に向け、神々の郷としての雰囲気づくり、訪れる人の利便性を高めるサービスの提供・滞在時間の延長を図る必要がある。	天安河原アクセス遊歩道や天岩戸神社東本宮南駐車場の整備に伴い、訪問者の利便性・回遊性が高められた。また、観光交流施設(門前通り)やポケットパークの整備により、情報提供や休憩の拠点が形成され、観光客の滞在時間の延長や地域住民の交流促進が図られた。	入込観光客数が横這いで推移していることから、まち全体の活性化には至らなかったことが推察されるため、さらなる観光客の取込みに資する魅力の創出や仕掛けづくりが必要である。	
②天岩戸神社を訪れる多くの観光客を門前通りに誘導し、まちの賑わいを演出するためや、溪谷沿いの神秘的な自然景観を楽しむための基盤整備や仕掛けづくりが必要である。	門前通りの改修や観光交流施設(門前通り)の整備が進んだことにより、観光客のまちなかへの誘導が図られた。天安河原アクセス遊歩道や岩戸川沿い遊歩道の整備により、自然景観を楽しむための基盤整備や仕掛けづくりが行われた。	—	・滞在時間の延長やまち全体の活性化をさらに進めるため、天岩戸地区全体の回遊を推進する取組も必要である。 ・門前通り周辺に一体的な賑わいを演出するため、複数の観光資源間や駐車場と観光資源との間における観光動線上の魅力の向上や、天岩戸地区みんなでまちをつくる機運の醸成が必要である。
③門前通りの岩戸地区の商業拠点としての賑わいの回復を図るための取組が必要である。	チャレンジショップ開店支援や既存店舗改修支援により商業拠点としての賑わい創出が図られた。また、門前通り改修や観光交流施設(門前通り)の整備により、門前通り全体の商業拠点としての雰囲気づくりが進んだ。	—	・商業拠点としての拠点性の強化により更なる賑わい創出を図るため、天岩戸地区の歴史・文化・観光等の情報発信機能や集客力の向上が必要である。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	観光客のまちなかへの誘導、まちなかのにぎわい創出	・門前通りの改修や交流拠点施設の拠点性の強化を継続しつつ、訪問者の少ない観光資源を活用するため、新たな魅力を発掘し、周辺環境整備や情報発信を進めるとともに、住民参加型による活性化方策の具体化を進めることで、観光動線上の魅力の向上や、みんなでまちをつくる機運の醸成を図る。	・観光交流施設における歴史・文化・観光等の情報提供の基盤整備 ・商業拠点の雰囲気づくりに資する門前通りの改修 ・商業機能強化のためのチャレンジショップ支援、既存店舗改修支援 ・住民参加型でのベンチ等の設置に係る具体策の検討 ・地域住民と町が協働で地域の景観を維持管理できるような持続可能な体制づくり 等
	観光客の滞在時間の延長	・地区全体に潜在する観光スポット、ビュースポットを観光客にもアクセスしやすいよう整備することで回遊を促すとともに、回遊行動そのもののしやすさを向上するための仕掛けづくりに関する取り組みを進めることにより、天岩戸地区全体の回遊の推進を図る。	・地域住民だからこそ知っている見どころの発掘・周辺環境整備・情報発信 ・地区内の回遊に資するビューポイントの整備、神社等観光スポットの周辺道路整備 ・回遊性向上のための案内板、説明版の設置 ・回遊時の休憩機能の強化のためのベンチ等の設置 等

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策	観光客の取り込み	・天岩戸地区を訪れる観光客の利便性や満足度の向上を図るための基盤整備を引き続き進めた上で、観光資源を効果的に伝える方法の検討や人材育成等により集客力の向上を目指す。	・天岩戸地区へのアクセス性向上のための道路、駐車場の整備 ・観光時の利便性向上のためのトイレ整備 ・地域住民だからこそ知っている見どころの発掘・情報発信 ・訪問意欲を高めるビューポイントの整備 等

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	高千穂町入込観光客数	千人/年	1,429	H26	1,513	R2	確定 ●	759	×	あり	●	→	—	—	—
							見込み			なし					
指標2	宿泊観光客数	千人/年	147	H26	162	R2	確定 ●	114	×	あり	●	→	—	—	—
							見込み			なし					
指標3	観光客消費額	億円/年	35	H26	38	R2	確定 ●	34	×	あり	●	→	—	—	—
							見込み			なし					
その他の数値指標1	—	—	—	—	/	/	確定	—	/	/	→	—	—	—	
その他の数値指標2	—	—	—	—	/	/	確定	—	/	/	→	—	—	—	

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・各指標について、継続的に計測(取りまとめ)を行っていたため、達成状況の把握や事業効果を常時確認することができた。	・毎年、指標データを計測することで、改善状況の把握や見込値の推計が安易となる。
	うまくいかなかった点	・各指標の推計値は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やその後の外出規制が数値に影響を与えている可能性が想定される。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・指標と事業の整合性は図られた。	・都市再生整備計画策定時には、事後評価を見据え、町全体の評価指標だけでなく当該地区の変化が分かる評価指標の検討も想定しておく必要がある。
	うまくいかなかった点	・町全体での評価指標を用いていたため、地域住民が整備効果を感じていたものの、直接的な指標の変化には至らなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・地域住民ワークショップにより、神殿通りの整備方針(歩道舗装、照明等)を立案したことは、町民のまちづくりに対する意識の醸成に繋がった。	・住民参加により事業内容を検討することは、円滑かつ効果的な事業実施に有効である。また、事業後の継続的な施設活用や維持管理にも影響をもたらす。
	うまくいかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

天岩戸地区において第二期計画を策定し、今後も引き続き地区内への誘客及び地区内の回遊性向上を図っていく。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに掲載	令和3年9月9日～9月22日	令和3年9月9日～9月22日	担当課への郵便、 ファックス、 電子メール、 直接提出	建設課(都市再生整備 計画担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	—	—	—		

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	—	令和3年8月	建設課	高千穂町公共事業再評価委員会設置要綱	高千穂町公共事業再評価委員会
その他の委員	副町長、岩戸地区公民館連絡協議会会長、三田井地区公民館連絡協議会会長、高千穂町商工会会長、高千穂町観光協会DMO推進課長、高千穂町議会議員、高千穂町企画観光課課長、高千穂町総合政策課課長				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	なし
	成果の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・門前通りに立派な観光交流施設ができたため、せっかく出来たこの施設を生かすために、チャレンジショップや店舗改修支援等、周辺を盛り上げる拠点整備を実施していかなければならない。 ・施設整備の際には、維持管理費を抑える対策も考えておいた方が良い。
	実施過程の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画に係るワークショップを開催してきたことで、町民の方々のまちづくりへの思いや参加意識が高まっている。役場と町民とのふれあいの場、お互いの意見交換の場になるため、このような機会をもっと取り入れるべきだと思う。 ・計画内容や事業内容について、ワークショップ等を通じ、町民に対して十分な説明がなされており、町民同士で説明し合うこともできている。 ・ワークショップの開催方法はこれまで通りが良いが、子育て中の親や幼稚園の先生なども参加できる日時を設定し、子どもを連れて歩く機会が多い人の意見も取り入れられれば、歩きやすい・周遊しやすいまちができると思う。
	効果発現要因の整理	なし
	事後評価原案の公表の妥当性	なし
	その他	なし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当である。

今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画の目的に「地域住民の生活の質の向上」も含まれるため、今後はさらに地域住民がまちづくりに参加していく必要がある。 ・駐車場の有料化について、整備費用の調整を含めて、検討して頂きたい。 ・地域住民も、まちづくりと連携したイベントなどで盛り上げたいという話が出ている。住民の意識を切り替えて、進めていければ良いと思う。 ・八大龍王水神や瀬織津姫神社の参拝客が増えているため、周辺道路の改良や側溝の対策を進めて頂きたい。 ・コロナ禍でも、今ある地域資源や整備による成果はPR出来るため、基盤整備を進めながら、広報を行うことが重要である。 ・まちなかの整備が進んだ後には、少し地域を広げて、地域資源を発見していけると良い。
	フォローアップ	なし
	その他	なし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は概ね妥当である。今後も町民参加で事業内容を具体化して行く方針について、異議なし。
その他	なし	なし

※1 審議事項の詳細は「都市再生整備計画評価委員会チェックシート」を参考にしてください。